

全薬会議・道修町ニュース 第23号

2009年3月

「全薬会議道修町 2009 年新春旗びらき」開催！



1月24日(土)、全薬会議道修町の「2009年新春旗びらき新年会」を開催しました。

旗びらき開催は初めての取り組みでしたが、20名もの方が参加して

下さり、5時終了の予定が30分以上もオーバーするほどの大盛況振りでした。

第1部の「旗びらき」は、全薬会議代表幹事の中西さんの挨拶でスタート。そのなかで、1月17日に名古屋で行われた全国幹事会では、「全薬会議活動の活性化のヒントを全薬会議道修町の活動に学ぼう」といった討議があったことが紹介され、参加者も大変勇気付けられました。続いて全薬会議道修町会長が、「DPC とは何か」についてミニ講演。今、外来では先発品かジェネリック品かを患者が選ぶ事が出来ますが、入院では注射や検査を含め患者が選ぶことは出来ないこと、2003年にDPC(診断群分類包括評価)に基づく入院医療費の定額支払い

制が開始され、今ではほとんどの基幹病院や大病院で導入されるまでになっていること、そして、DPC 導入病院は、特にたくさん使用する薬剤、注射をジェネリック品に変更してコストを抑えれば利益が出ることなどが、分かりやすく紹介されました。

第2部は、お待ち兼ねの「新年会」。中西代表幹事の乾杯の音頭でスタート。全薬会議道修町の今年の活動を紹介するスライドショーをバックに、おいしい料理とお酒をいただき、参加者一同満足満足。誰からともなく始まった「一言トーク」も、名進行役の差し出したマイクならぬ“ボーリングのピン”のリレーで、参加者全員が「一言」発言を達成！(中には3回も発言した人も...)。...が、いつしか終了予定時間は過ぎにけり...

最後は、昨年10月に開催された「全薬会議20周年記念レセプション」で紹介された全薬会議20年の歩みのスライドショーを全員で視聴。20年の歴史に学びながら、2009年を新たな気持ちでスタートすることを誓い合い、閉幕しました。

(T.S 記)

全薬会議“全国幹事会”に参加して



2009年第1回全薬会議(全国)幹事会が1月17、18日に名古屋で開催されました。

東京、埼玉、大阪そして名古屋から17名が参加し、会議ではまず年間の活動の経過が報告されましたが、最初の話題は何と

いっても創立20周年集会でした。多くの参加者からは薬害肝炎訴訟原告代表の山口さんの講演に感銘し、また、記念誌に懐かしい姿を見つけたとの感想が出され、次の10年へつなぐ決意を新たにしました。その後、去年の活動報告が行われましたが、薬業総行動や厚労省交渉をはじめとする活動の経過を振り返り、ジェネリック医

薬品使用の進展を振り返って、改めて全薬会議の果たして来た役割の重要性を認識しました。

その後は場所を移して、期待の懇親会！各地の仲間と活動の様子、仕事のことを語り合った貴重な時間でした。

次の日は今後の活動の活性化ための意見交換が行なわれ、そこでは全薬会議道修町の活動状況の報告も行ないました。また新たな取り組みとしてホームページの更新を行なっていくためにHP委員会を立ち上げて内容作成と実務を進めていくことになりました。乞うご期待です。

今回初めて参加しましたが、各地の小さな集まりでもみんなが手をつないで集まれば大きなことをやり続けることができるということを実感しました。

(S.J 記)

会員投稿リレー企画／“私の趣味、「太極拳」”



昨年7月から太極拳を習っています。太極拳の中でも「楊名時健康太極拳24式」という年をとっても続けられる運動です。

以前からちょくちょく中国に行きますが、朝散歩をしていますと、ここかしこで太極拳をしているグループを見かけます。加えてもらって、見よう見まねでやってみたいと思いつながら実現していません。

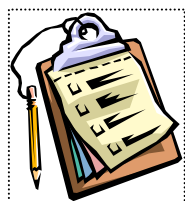
ある日、家の近所を自転車で走っていたら、町会の掲示板に「健康太極拳生徒募集」のポスターが目にとまりました。城東区主催で近くの小学校の体育館で週1回開催

しているとありましたので、すぐに申し込みました。講師は70才すぎの男性(太極拳楊心会大阪の会長)で生徒は私を含めて男性2名、女性約25名、平均年齢は私より少し上だと思います。まだ一人で演舞できるまでにはなっていませんが、週1回の教室を楽しみにしています。次回、中国に行った時には、中国の方に混じって一緒に太極拳ができればと思っています。ただし、太極拳には多くの流派がありますので、果たして私の習っているのが通じるかどうか分かりませんが。

(西脇 記)

(さてさて、次は誰が「私の趣味」を紹介してくれるかな 編集子)

道修町コラム：医薬品卸労働者の現実！



医薬品卸業界では近年、再編が加速し、現在はメディセオ・パルタック、スズケン、アルフレッサ、東邦薬品の4グループで医薬品市場の7割近くを占めている。その結果、1992年には331社75000人(医薬品卸連加盟会社)であったものが、1999年には232社約66000人、2008年は123社55000人までに激減している。

医薬品卸は売上総利益(粗利益)率が10%内外、営業利益率は1%内外のレベルであり、製薬企業の営業利益率が10%以上であることと比べると大きな格差がある。

また、労働条件も長時間労働に加え、大手卸の一部でも40歳で年収500万円台といわれており厳しい条件にある。

これまでの再編の過程では多くのリストラが行なわれてきたが、昨年希望退職募集を行なったある卸でも応募者が少なかったため激しい退職強要が行なわれたと言われている。

今後、不況と医療制度改悪が卸業界にもさらに悪影響を与えると考えられ、労働者への攻撃が出てくると予想されることから、注視する必要がある。

(S.J 記)

♪ 全薬会議道修町からの“お知らせ” ♪

- 「第7回総会&交流会」開催のお知らせ
 - ・日程:2009年4月11日(土) 午後2時30分~5時
 - ・場所:エルおおさか 701号会議室
 - ・全薬会議道修町2009年度年会費(1000円)をお願いします。(交流会参加はプラス参加費1000円)
- 物品販売のお知らせとお願い
 - ・総会に合わせ、活動資金カンパを兼ねた「物品販売」を予定しています。詳細は別途ご案内予定。
- 会員交流レクリエーション「大山崎・歴史ハイキング」のお知らせ
 - ・日程:2009年5月30日(土)
 - ・行程:秀吉の天下取りの地「山崎」を訪ねます。詳細は別途ご案内予定。

全国薬業労働者連絡会議(全薬会議)・道修町

大阪府中央区道修町 3-3-10 大阪屋道修町ビル 601号 大阪中央区労連気付